

おむつはずしがスムーズになる

排泄を通じたコミュニケーションとは

～トイレでこじれる前に～

活動の目的

昨今、おむつがはずれる年齢が上がってきています。紙おむつに頼りすぎることで、自然にはずれることが不可能な状態に陥っています。おむつの長期使用によって、子どもの自信喪失や膀胱機能障害や運動機能障害等のリスクがあることもわかりはじめました。

しかしながら、そのことを伝える場所はほとんどありません。

本来こどもの持っている排泄の能力を伝えること、適齢期にスムーズにおむつがはずれるような情報を伝えていくことが、目的です。

離乳食や歯磨きの講座が行われているように、排泄のことも伝える場所を作りたいと願っています。

講座内容

- ・赤ちゃんはおむつをなぜつけている？

おむつを外すと赤ちゃんにおしっこを飛ばされた経験ありますか？

赤ちゃんはお尻を汚したくないという「本能」を持っているからです。“部屋や洋服を汚されたくない”という「大人の都合」でおむつを付けてもらっていて、おむつの中で排泄するように学習しているのです。2歳から3歳までおむつでの排泄を学習した赤ちゃんが、トイレでの排泄を再学習することがトイレトレーニングです。長い時間、おむつでの排泄を学んだ子どもが、その習慣を変えることはとても難しいことです。年齢が上がれば、意思も固まるので、「こじれる」ことが多くなります。

そうならないために、解放された空間での排泄を忘れないようにするための排泄の介助が大切です。結果、スムーズなおむつはずしに繋がります

- ・「自然に外れるから、焦らなくていい・・・」という言葉の本当の意味

紙おむつが普及していない時代は、布おむつが主流でした。赤ちゃんの排泄を全て布で受け止めると、1日に30枚ほどのおむつを洗うこととなります。洗濯機のない時代にそれは過酷な家事となります。そこで大人が子どもにしていたことは、排泄の介助です。

首の座る頃から、トイレやおまるやお庭などのおむつの外で、大人が赤ちゃんの両足を持って、

「シーシー」と声をかけ排泄をさせていました。それが排泄の介助です。これにより、洗うおむつの枚数は数枚で済んだのです。

おむつの外での排泄、これは自然な状態での排泄です。この自然な状態での排泄を知っていて、習慣化している赤ちゃんは、自然に外れていきます。

しかしながら、紙おむつでの排泄しか知らない赤ちゃんは、不自然な状態での排泄しか知りません。不自然な排泄から自然な排泄へ「自然に」もどることはありません。本当の意味が見失われていて、言葉だけが残っているだけなのです。

・排泄を通じた親子のコミュニケーションは、親子の絆を深めます

排泄の介助を効率よくするためには、赤ちゃんの様子をよく観察し、頻繁に言葉をかけ、泣く理由を探り、そして赤ちゃんの快・不快に心を寄せることが大切になります。赤ちゃんを一人の人間として、その気持ちを尊重し向き合うことです。こうしたお世話の積み重ねは、子どもを理解することにつながります。子どもをしっかりと理解することで、子どもも親のことをしっかりと理解していけるようになります。お互いに理解し合える間柄になること、これが親子の絆の深まりとなります。子どもを可愛いと思え、子育てが楽しいと思えるようになることを願います。

この乳幼児期の関わりにより、将来的に子ども自身の自立を促す力・コミュニケーション力を育てていきます。一方、保護者には子どもを観察するする眼、子どもを信じて待つ力、自立にむけたサポート力が培われます。

こうした人間関係の構築は、子どもの自己肯定感を高め、生きる力の基礎となるでしょう。

以上の事をベースにしていしながら、参加するお母さんと対話を深め、互いに理解し合えるように努めたいと思っています。

また、乳幼児期の専門的知識を持った幼稚園教諭・保育者の皆様に向けて、保護者向けに+αした内容をお伝えすることができます。

保護者向け講座と共に、職員研修等で「コミュニケーション力を育む排泄講座」をご検討いただけますと幸いです。

講師プロフィール 金井さやか

幼稚園教諭 1 種、保育士、AMI 認定国際モンテッソーリ教師

おむつなし育児アドバイザー、排便・便秘アドバイザー

JABC ベビーマッサージインストラクター

横浜保育室・幼稚園で 14 年間の現場経験、

現在、認可保育園勤務、横浜モンテッソーリ教室「ちいさいおへや」主宰

幼稚園教諭・保育士として現場の経験を活かし、幼稚園や保育園の先生方や地域の親子支援をしていきたい方をサポートしています。

「コミュニケーション力を育む排泄自立講座」を横浜市を拠点に川崎市・都内で講演活動を行っています。

保護者向け講座・職員研修のご用命はこちらからお願いいたします。

お問い合わせ

メールアドレス piccole.stanze@gmail.com